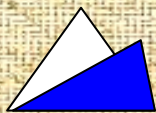


会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟



三島野スポーツクラブ

No. 274

2023年7月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



鹿島槍ヶ岳（黒部平より） 小木 清画

夏山企画紹介

◇7/9 明星山

◇7/16 緊急企画 夏山のための登山教室

◇7/21 自主企画 雨飾山

◇7/27・28・29 爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳

◇8/11・12 山の日企画 Aプラン 大日連山縦走

◇8/11 山の企画 Bプラン 大日平トレッキング

◇8/19・20 天神尾根谷川岳

◇9/9・10・11 穂高連峰縦走

山行報告

5/28 高落場山

6/4 クリーンハイク
小佐波御前山

登山中の失態の報告と反省
荒井英治

6/11 労山県連

登山セミナー

7月・8月企画案内

青い空、白い雪渓、緑の木々、色とりどりの高山植物……。稜線まで登れば、山岳風景が眼前にひろがる。

さあ、今夏はどの峰に！

7/9 (日)

明星山

みょうじょうさん (みょうじさん)
1188.5m 糸魚川市

明星山は石灰岩からなる飛騨山脈北部に位置する標高1,188mの山です。秀麗な形と大岩壁を備え、全山石灰岩で、特に岩肌がむき出しになっている南壁は日本有数のロッククライミングの聖地です。直下を流れる小滝川は国指定天然記念物の小滝川ヒスイ峡として知られています。

山頂から少し下がった先端に開けた場所があり、そこからの眺めは日本海、後立山連峰を始め素晴らしい景色が広がる。

【集合出発】5時30分 薬勝寺池P

【行程】

糸魚川IC → R-148 小滝からヒスイ峡登山口へ →
登山口 → 巨岩ガレ場 → 小滝水場 → 岡コース分岐
→ 岩頭(頂上) 往路を下る

累積標高差 1020m 登り4時間 下り3時間

体力度★★★★☆☆ 技術度★★☆☆☆☆

【参加申込】7月1日まで堀井泰則へ

SMS 090-1314-6394



高浪の池と明星山

7/16 (日)

緊急企画

三点支持などの登山訓練教室開催

夏山企画に鹿島槍ヶ岳や大日岳縦走・穂高岳縦走・谷川岳などがあります。一般ルートの登山道ですが、急な岩場の登り下りがあり三点支持が必須な登山道です。また、低山でも三点支持の必要な登山道はあります。6月の登山セミナーが雨のため中止となった訓練をクラブで独自に実施することになりました。

【集合・出発】7時30分 薬勝寺池P

【訓練内容】9:00~12:00 (午前中のみ)

- ・ 三点支持による急斜面の岩稜の登りと下降・トラバース(横断) 訓練
- ・ 簡易ハーネスの装着の仕方と使い方
- ・ その他

【参加申込】7月6日までの場邦夫へ

SMS 090-4320-5325



自主企画案内

7/21(金) 雨 飾 山

小谷村/糸魚川市
1963m

深田久弥の「日本百名山」として人気は“全国区”。夏山登山の序章として企画しました。

【集合・出発】5時00分 薬勝寺池 P
 【行程】 長野・小谷温泉コースを往復
 単純標高差 800m (累積標高差 1050m)
 体力度★★★★☆☆ 技術度★★☆☆☆☆
 登り4時間30分 下り3時間 L:堀井泰則
 参加申込は7月11日まで堀井泰則へ
 SMS 090-1314-6394



400mを1ポイントとして表示
11/11が山頂



8/11 (金・山の日)

山の日企画 **B** プラン

夏の 大日平トレッキング

【集合・出発】6時00分 薬勝寺池 P
 【行程】
 称名滝登山口 → 猿ヶ馬場 → 牛首 → 大日平
 帰路は登山路を下る
 標高差 約 800m 登り3時間 下り2時間
 体力度・技術度とも★★★★☆☆
 L:的場邦夫
 【参加申込】8月1日までの的場邦夫へ
 SMS 090-4320-5325

称名川を挟む弥陀ヶ原とともにラムサール条約に登録された国際的にも重要な標高 1800mの高層湿原。

高山植物の花を愛で、大日岳などの峰々を仰ぎ、富山平野を俯瞰しながらトレッキングしましょう。



山の日企画 A プラン「大日連山縦走 1泊2日」企画は山小屋の予約のため、予定通り6月10日で締め切りました。9名の参加を受け付けました。



夏の BIG 企画「爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳」申し込みは山小屋予約定数7人になり受付終了しました。

山小屋の運営がまだ「コロナウイルスの感染対策」をしており、宿泊受け入れ人数を大幅に圧縮しているため、クラブの企画運営も苦慮しています。会員諸氏には事情を理解してくださるようお願いいたします。

8/19(土)~20(日) 谷川岳

群馬県みなかみ町
／新潟県湯沢町
1977m

人気の山。ロッククライミングで”危険な山”として名を高めたが、今回ルートはロープウェイを利用して天神尾根を登る一般ルートです。三島野 SC 初めての企画。

1日目

北陸・関越自動車道 水上IC→ 谷川岳一の倉沢トレッキング (約3時間) 土合山の家 (泊)

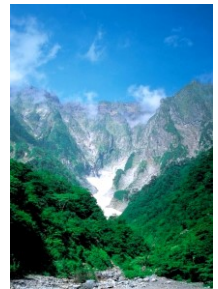
2日目

谷川岳ロープウェイ→ 天神尾根(1320m)→ 谷川岳山頂
標高差 880m 登り 3時間 30分 下り 2時間 30分
体力度・技術度とも★★☆☆☆ L:的場邦夫

※参加申込は8月5日まで SMS 090-4320-5325 的場へ
※費用は約 23,000円



上・天神峠から谷川岳を望む
右・一の倉沢トレッキングコース



9/9(土)~11(月) 穂高連峰縦走

北穂高岳(3106m) 涸沢岳(3103m) 奥穂高岳(3190m)

山を目指す者たち誰もが憧れる穂高連峰。
三島野 SC は 2006年・2007年以來久しぶりの企画となります。

1日目

上高地 → 横尾 → 本谷橋 → 涸沢 (泊)
歩行時間 6時間 標高差 登り 850m

2日目

涸沢(南稜) → 北穂高岳 → 涸沢岳 → 穂高岳山荘
歩行時間 9時間 岩稜のアップダウン

3日目

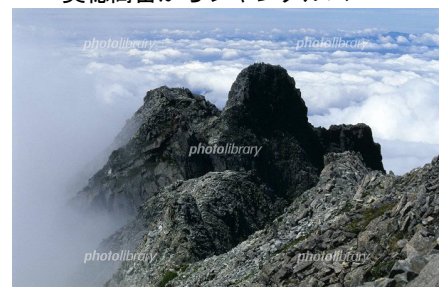
山荘から奥穂高岳を往復 2時間
穂高岳山荘 (ザイテングラード) → 涸沢 → 上高地
L: 塚 良昭
歩行時間 8時間 標高差 下り 1500m
体力度・技術度とも★★★★☆

※ 山小屋の予約受付が「一か月前より」となっています。
それに間に合うよう参加申込は **8月7日迄** とします。
塚 良昭 SMS 080-8033-7427 へ
※ 費用は約 35,000円



涸沢カールのお花畑

奥穂高岳からジャンダルム



山行報告

5/28(日)

高落場山

(1122m)

草沼山・奥つくばね山

メンバー：〈L〉塚 良昭、〈SL〉的場邦夫、〈写真〉堀井泰則、草 進、高井増美、老川佳子、
宮本久子、松田光恵、松田理恵子

【行程記録】

薬勝寺P 7:20 発
縄ヶ池P着 8:40
高落場登山口 10:33
高落場山山頂着 11:15 昼食
発 11:51
草沼山着 12:27
奥つくばね山着 12:58
縄ヶ池P 着 13:33
薬勝寺P 着 15:10



老川：今日は曇り空で蒸し暑い山行となりました。暑い暑いと言いながらも、ニリンソウ、エンレイソウ、サンカヨウやチゴユリなどの可愛い花や鳥たちの声に励まされながら登ることができました。また、不思議な形のブナの巨木や縄ヶ池に目を奪われ、草沼山の頂上では白山を望むことができ、今日はぐっすり眠れそうです。皆様お疲れ山でした。

高井：鳥のさえずりを聞き、更には色々なブナを見ながら楽しめた山行でした。ありがとうございました。

塚：夕方から雨の予報で天候が心配でしたが、時々強い陽射しのある良い日でした。縄ヶ池からの急登を辛抱すれば、気持ちの良い素晴らしいブナ林のトレッキングです。高落場山からは白山が見え、草沼山と奥つくばね山の眺望も良かったです。

的場：林道工事に入る寸前での山行企画滑り込みセーフ！！
天候に恵まれてブナの林の中をグリーンシャワーを浴びながらの山行は気持ちが良く満足しました。ありがとうございます。

宮本：青空ではなく、チョット残念でしたがブナ林をたっぷり歩きました。象ブナ、ブナこぶ、兜ブナ等、人間では病気かと思ひながら、自然の芸術品に魅せられました。また笹百合もこれから咲きそうでした。久しぶりの参加で元気をもらいました。有難う御座いました。



草：トッキの厳しい登りを過ぎ「古道・道宗道」をゆっくり山菜に目を凝らし、壮大なブナ林を暑い気温を覚悟で山歩きでしたが、さわやかに進み白山展望で山気分も最高での新緑深い山旅でした。

松田光：登り始めの坂で汗をかいたが、やがて曲がりくねる杉の巨木が連なり、続いてブナ林の柔らかな新緑の世界に包まれた感覚は気持ちよかった。象ブナ・甲ブナも立派だったが、時折見える砺波平野の散居村が素晴らしかった。期待以上の山行となった。

松田理：今年初めての三島野での山行でした。暑さを恐れていましたが、吹く風さわやかで、タニウツギやヤマツツジ、これから咲くササユリを楽しみながら歩きました。山菜もちょっぴりいただきました。

堀井：南砺方面に車を走らせると、右手に医王山を見て、左手に砺波平野を取り囲む壁のように連なる1000m峰が立ちふさがる景色を車窓から幾度も眺めてきた。その連なりの一峰に登ることに楽しみを感じて参加した。きれいに踏まれた登山道は快適。深緑の美しいブナ林や、時折視界が開けて俯瞰する砺波平野の景色に目が奪われたマンゾク・マンゾクな山歩きでした。



広がるブナ林 兜ブナ



ハングラライダー飛び出し場から砺波平野

山のウンチク

富山湾から3000mの山岳地帯の“その名も山が富む地域”富山県。この地の高い山、低い山を紹介します。（山田 格）

富山県最高標高ピーク ベスト 20

1.大汝山	3015m	11.北薬師岳	2900m
2.雄山	3003m	12.鹿島槍ヶ岳	2889m
3.富士の折立	2999m	13.ワリモ岳	2888m
3.劔岳	2999m	14.別山	2880m
5.水晶岳	2986m	15.龍王岳	2872m
6.白馬岳	2932m	16.旭岳	2867m
7.薬師岳	2926m	17.赤牛岳	2867m
8.野口五郎岳	2924m	18.真砂岳（裏銀座）	2862m
8.鷲羽岳	2924m	19.真砂岳（立山）	2861m
10.白馬鑓ヶ岳	2903m.	20.三ツ岳	2845m

富山県最低標高ピーク ベスト 20

1.菌家山(入善町)	17m	11.砂山(小矢部市)	155m
2.円山(氷見市)	35m	12.平山(小矢部市)	156m
3.呉羽山	80m	13.金山(高岡市)	160m
4.千羽山(小矢部市)	93m	13.城山(小矢部市)	160m
5.火燈山(小矢部市)	95m	15.天神山(魚津市)	163m
6.榊形山(上市町)	100m	16.清水山(旧福岡町)	170m
7.高津峰山(旧小杉町)	117m	16.城ヶ平山(旧福岡町)	170m
8.平尻山(旧福岡町)	119m	18.城山(小矢部市)	186m
9.城山(富山市)	145m	19.天狗山(砺波市)	192m
10.三方峰(高岡市)	150m	20.別荘山(旧八尾町)	195m

6/11(日) 安全登山のための

登山セブ三十一

主催：労山富山県連盟

参加者：〈L〉 的場邦夫、堀井泰則、岩井富雄、石黒洋子、守田清子、塚 良昭、今村和子、甲 かほる
浦 幸江、松田理恵子

薬勝寺池駐車場	7 : 30
水墨美術館駐車場	8 : 10
GPS・地図の折り方・読図等の研修	
富山大橋下へ移動	9 : 30
ロープワーク研修	
昼食休憩	12 : 00
水墨美術館駐車場	13 : 00
ロープの縛り方、捜査の名称の復習	
解散	



ひとくち感想

- 甲：今日は雨にも負けず、命を守るためのロープワークの色々なやり方を丁寧に教えてもらったのですが、なかなかのものでした。自分のものになるには時間がかかりそうです。また、上手に開ける地図の折り方、地図の尾根と谷の見方、コンパスの使い方も学習しました。ありがとうございました。
- 石 黒：初めてのロープワーク体験ではカラナビ、シュリング、ムンターヒッチ、クローブヒッチ…と???の言葉が次々と出てきて?の世界でした。岩から降りるとき、ロープが背中と首を締め付け痛かったこと…。自分で考え、自分の力でギアを使いこなして登り降りができることにあこがれます。教えてくださいありがとうございます。
- 塚：生憎の雨で、訓練場所が富山大橋の下になりました。雨を凌げるし、適度な傾斜の玉石斜面で十分な訓練ができました。一年ぶりのロープワークですっかり忘れてました。時々復習研修があればなーと思いました。午後の読図山行が中止になり残念でした。
- 的 場：前日に雨の対策で場所変更。当日の集合場所の水墨美術館の駐車場へ行き、待ち時間を利用しGPSや読図をレクチャーしたが時間切れ。富山大橋の下でロープワークをみっちり練習する。毎年やっているが中々身につけていない!!使わないと忘れる!!
- 守 田：丁寧に教えていただき有意義で楽しい講習会でした。忘れないように繰り返し練習することが大事だとその時は思ったのですが、なかなか実行は難しいです。
- 浦：ロープ結びの講習に参加できる機会をありがとうございました。紐の結び方一つで、自分の体の安全性がグッと上がる体験をしました。楽しく学べました。来年まで覚えていられるといいです。
- 松 田：雨で、午後の部を楽しみにしていたのがちょっと残念でした。大切な研修ですが自分には直接役立つ山行はないなあと思いつつ。
- 今 村：富山労山の方に、ロープの繋ぎ方や、カラビナの選び方など、丁寧に分かりやすく教えていただきました。ありがとうございました。
- 岩 井：今回の訓練に三島野スポーツクラブから例年より多くの方が参加され、クラブとして安全意識が高まったと思います。嬉しいことです。
- 堀 井：あいにくの雨で真川での「三点支持」を中止したことが残念だった。

6月4日(日)

小佐渡御前山

メンバー：(L) 荒井英治、(SL) 的場邦夫、草 進、加藤日出子、老川佳子、堀井泰則、
山本則夫、島倉津也子、塚 良昭、石黒洋子、岩井富雄、今村和子、浦 幸江、

【行程記録】

薬勝寺池 P 出発 8:00 → 猿倉山駐車場 9:00 → 猿倉山 9:20 → 御前山 10:20 →
小佐渡御前山 11:40 (昼食) 12:30 → 御前山 13:20 → 猿倉山 14:00 →
猿倉山駐車場 14:20 → 薬勝寺池 P 15:20



ひとくち感想

- 老 川**：とても暑い1日でした。ゴミを探してずーっと下を向いて歩いていましたが、風の塔の展望台から見える景色は格別なものでした。ゴミはわずかな量で、マナーを守って登られる方々ばかりで良かったなあと思いました。暑い中、お疲れ様でした。
- 的 場**：登山開始早々色々ハプニングがあり慌てましたが御前山近くで解決して、好天に恵まれ13名で登山道のゴミを回収し気持ちよく終了しました。
- 草**：クリーンキャンペーンです、ごみ袋を腰につけ元気よく、新緑深き木漏れ日さわやかに階段を何度となく登り、こんなに厳しい登りだったかと体力の無さを感じながら、皆さんの高らかに弾む会話を楽しく聞きながら御前山へ。散居村の素晴らしい景観を後に林道歩きの末にいつの間にやら、ごみ拾いも忘れ山頂標識を確認し小佐渡御前山到着です。帰りは一気に下山が進み最後の風の城、猿倉山の急な登りを体力を出し尽くし休憩到着です。さわやかな天候に恵まれての楽しい里山歩きでした。
- 島 倉**：毎年クリーンハイクに参加していますが、どの山もゴミが少なく気持ちいいです。来年もこうであればいいのになあ～。
- 塚**：天候にも恵まれ、家族連れやグループなど多くの方が登山を楽しんでおられました。登山道は大変綺麗でほとんどゴミは無く、たまにゴミが見つかる「おめでとう」の聲がかかっていました。さわやかで楽しいクリーンハイクでした。

堀井：登山歴 27 年になろうという私にとって「初めての山」でした。クラブで幾度か企画されたこともあったが、何故か参加しなかった。槍・穂高などの北アルプスへ向かうたびに通る R-41 号線の神通川の向こうに見える山として車窓から眺めるだけでした。登山口に着いて次々に登りはじめる登山グループに人気のほどを知ることができた。整備された登山道と山頂からの眺めは一級品だった。それにしても登山道分岐が多くあって、迷いやすいことが気になった。

獅子ヶ鼻岩・眼下に神通川と楡原集落

石黒：森の中では日陰を歩くと涼しい風が吹き、汗ばみながらも気持ち良かったです。ゴミを見つけながらも、花や木に目が向きがちになりました。小さなゴミを数個しか見つけられませんでした。落とす人がいないということなので良かったです。ギンリョウソウやシロバナハナニガナ、フタリシズカに会うことができました。



今村：あまりゴミのおちていない、きれいに整備された山で、とても気持ちよく登れました。ギンリョウソウ、シモツケソウ、シロバナイチゲなどが足元に咲いていて、とてもかわいらしかったです。ヤマボウシの白い花、ホウバの大きな花、ヤシオツツジのオレンジ色の花などが、新緑の林に咲き誇り、とても綺麗でした。

山本：猿倉山スキー場駐車場に到着下車。 あ・あ・・・あ・・・スマホがない、どこだ☹うだ充電したまま忘れてきた☹・・・ガッカリ。せっかく昨日ヤママップにて地図をインストールしたのに、気を取り直していざ登山。十年前位に一人で来たことがありますが、さすがに体力の低下に思い知らされました。

加藤：4/23 企画の越前甲山行のリーダーをする予定であった下見登山に 4/10 に行ったのです。翌日の 4/11 に検査予約して自覚症状は全く（痛み）無く、検査結果にて急遽入院外科手術の診断。ガン!!!!!! 本当に予期せぬ災難に戸惑い、非常事態に面食らった!!! 下見同行した的場さんにはリーダーを快く引き受けて貰って感謝です(^_^)v お陰様で治療に専念し命拾い～～退院迄は色々難関も有ったが、無時生還する事が出来ました。そして、日頃健康は当たり前のように思ってるが、健康である幸せに感謝すると、同時にいつも楽しく山歩きをさせて頂いてる山に、今回クリーンハイクに参加し仲間と一緒に歩けた喜びに感謝致します!! ありがとうございます<m()m>



浦：風の城の駐車場から出発して、途中から山道へ入る。足下も歩きやすく、木陰の中を歩く。最高に気分良く、気持ちいい日でした。歩いている途中、目を開いてゴミを探すが、ほとんど見つけることが出来なかった。この山に登る人はマナーを守ってくれていると感じました。風を感じながら歩いた 1 日でした。

岩井：登山道には、殆んどゴミが無いことは、大変良いと思います。しかし、川の堤防道路には依然ゴが捨てられているのに残念です。

荒井：大失態をしでかして、皆さんに不愉快な思いをさせてしまった。まったく「穴があったら入りたい」。山行リーダー（＝荒井）が一行からはぐれてしまって、しかも連絡手段の無線機も携帯電話もうまく繋がらず、長い時間、互いの位置が確認出来ないまま、不安とあせりでパニック状態だった。サブリーダーの的場さんを始め、参加者の皆さん、申し訳ありませんでした。その顛末は別文に書きましたのでそれを読んで下さい。

メンバー：L：的場邦夫、堀井泰則、高井増美、加藤日出子、石黒洋子、山本則夫、島倉津也子
塚 良昭、川渕順正、老川佳子、有澤真知子



登山口に向かう高速道路で車にアクシデント。その対応で二組に分かれての行動となった。

二組とも無事に山頂に立った。標高差 700m 足らずだがなかなか手ごわい山だった。帰路、車中から振り返って見た日野山は、越前平野を見守るように座る美しい山容で存在感があった。

行程記録・感想など山行報告は次号会報No.275 に記載します。

小佐波御前山登山での私（荒井）の大失態の報告と反省

荒井英治

時間列に従って、当日の状況を述べます。三島野スポーツクラブの参加者は 13 名で、天気は良好。猿倉山の『風の塔』の下の駐車場から歩き出す。ファミリーコースということもあって、我々以外に、他の家族連れや身軽な服装の若者グループも多くて、にぎわっていた。事前調査をしていなかったの、サブリーダーの的場さんに先頭をお願いして、私は最後尾に付いた。

『風の塔』を目指して登り始める時、私は地図やコンパス、熊撃退スプレー、無線機、携帯電話、クリーンハイクののぼり旗などの小物を所持していたが、使いやすい位置に移し変えながら歩いた。当然、前方を良く見ていなかった。三島野のメンバーの列から少し遅れて間が空き、そこに数人の若者グループが間に入った。その時点では「どうせ風の塔でメンバーと合流出来るだろう」と安易に考えていた。

ところが『風の塔』まで来て、周りを見渡しても三島野グループの姿は何処にも見えず、先を行っているのかと考えて、遊歩道の道をスピードを上げて歩いた。小走りで歩いたが、10 分程歩いても追いつけないので不安になりだし、自分の進路が間違っているのかと思い、地図とコンパスで確認したが、それでもなさそう、これは脇道がいくつかあって私がメンバーとは別の道を歩いているのだろうと考え、サブリーダーに連絡を入れなければと無線機で呼び出したが応答がなく、携帯電話でも呼び出してみたがそれも反応無しで、下って来る人や、登って来る人に、「10 人くらいの登山グループを見なかったですか」と尋ねたが、どの人も「そんな登山グループは見なかった」との返答。どうなっているのか訳がわからず、頭の中が混乱し、とにかくサブリーダーに連絡をと、何度も無線と携帯電話で呼び出しても相変わらず応答無し。とにかく御前山まで行けば何か掴めるかと期待して急いだが、そこでも何の手がかりも無し。お手上げ状態。途方に暮れていると、まもなくサブリーダーからの携帯がなり、「そこで待っていて」とのこと。ほっとして「先ずはひと安心」と胸を撫で下ろす同時に「皆にあわせる顔がない、穴があったらはいりたい」の気分。リーダー失格。

●以上が当時の実態でした。こういう事態を引き起こした原因を、反省と今後の教訓とするため列挙してみます。

原因その 1：メンバーの姿をしっかりと視野にとらえ取めていなかったこと。

その 2：無線機の操作が未熟だったこと（事前にセットされていた周波数がずれてしまつて通信不能の状態になっていることに気づいていなかった）

その 3：、小佐波御前山は 20 年程前に他のグループで何回か来た事があったので「事前調査をしなくても何とかなるさ、メンバーの中には何人もこの山に慣れた人もいることだし。」と他人任せの安易さあったこと。

以上が思い当たる自分なりの反省点です。

※後日の世話人会でこの件について話し合っていた時に、世話人の 1 人から「荒井さんは後尾にいて、隊列から距離が離れてしまうことが多い。」と指摘され、ハツとした。

他人から言われるまでそんな自覚はなかったの、これからはメンバーに迷惑をかけないように、隊列を乱さないよう努めようと思った。

無線機の取扱説明書もしっかりと読んで、慣れておこうと思う。他人任せにせずに。

〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏 名	住 所	TEL	携帯
代 表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、加藤日出子、守田清子と上記の4名で構成します。

〔相談役〕山田 格、林 憲彦 〔監事〕草 進、浦 幸江

7月の世話人会開催は**7月4日(火)と18日(火)の午後2時から**、会場は「はなみずき」です。どなたでも自由に参加できます。ぜひ顔をだしてください。

会報編集担当です。会報に記載する原稿のは下記アドレスに送ってください。

堀井泰則 horii.yasunori@rouge.plala.or.jp 甲かほる kab@p2.tcnet.ne.jp
 松田理恵子 krbara@p2.tcnet.ne.jp

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るとするには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



編 集 後 記

- ・7月・8月・9月の夏山企画がスタートです。しかし、山小屋・山荘の利用は新型コロナウイルス対策が少し緩和されてとはいえ、厳しい状況が続いていて希望者全員が行ける状況に無いことが残念です。谷川岳の前泊は十分に余裕ある部屋を確保したとのこと。また日帰り企画にも積極的に参加を！
- ・登山セミナーが雨天のため「三点支持訓練」ができませんでした。そこで『緊急企画・登山教室』を実施することになりました。真川の堤防石垣の登攀訓練はかなり実践的だと思います。是非ご参加を！6/24の日野山で山頂近くで急な斜度の岩場の登りとなって、「三点支持」で登りました。思いがけないところで岩稜登攀に出くわします。重ねて参加を呼びかけます。
- ・「閉鎖中の山小屋が荒らされた!!」ことがニュースとなった。テント泊装備で登ってきて、閉まっている小屋をこじ開け、暖房、食料を傍若無人の振る舞いで使い、散らかしっぱなしになっていたとか。そこは労山の生みの親ともいべき伊藤正一さんが建て、ご子息の圭さんが継いでいる三侯山荘と水晶小屋である。お見舞いや激励などが多く寄せられているとのことだが、登山を愛好するものには許しがたい憤りを覚えずにはいられない。

